

との協働や評価の視点、財政上の措置を盛り込んだ点です。

「地域保健法以降、三重県では、県と市町村の役割分担が単なる棲み分け論になり、健康づくりは市町村の仕事で、県は金も出さない、と財政的にもそんな流れになっていました。しかし、県の顧客は県民で、市町村で勝手にやってくれは無責任だ、市町村ががんばっているのを県がしっかり支援する必要があると、十年度から県の役割を担当者レベルで話し合いました」（城マネージャー）

手始めにまず、ベンチマーキング（優れた業績の他社と業務プロセスを比較し、自社の相違点を明確にし、最良の方法を実現する経営刷新の手法）で長野県や熊本県と比べたところ、「両県は定期的の実態調査の予算を確保し、それを事業に反映させる評価サイクルを実施していました。しかし、

当県では、調査



三重県健康づくりチームの城マネージャーと小坂副参事（写真右から）

と事業がリンクしてなかったんです」と健康福祉部健康づくりチームの小坂みち代副参事。十一年度には、イギリスとアメリ

カの健康行政を視察、「いずれも根拠法や検証などの根拠があり、県にもそれが要だ」という共通認識を得ました。同県のベンチマーキングは、県職員の創意工夫を促すために取り入れたもので知事の前でプレゼンテーションをする機会があります。これを活用して知事に訴えた際、同席した当時の鈴木幸雄健康福祉部長（現在、環境省環境安全課環境リスク評価室長）が「やはり根拠条例が必要」と一言。これが直接の発端になっています。

評価と情報提供で 県と市町村の橋渡しに

この間、同時進行で「ヘルシーピープルみえ・21」の策定作業が行われ、ここに北川正恭知事が持ち込んだ行政評価やニューパブリック・マネジメントの考えを入れ、「評価」を盛り込むことにしました。

「机に飾ってそれで終わりの計画には絶対したくない。自分たちは県民にいいことをして、世の中を改善したいから働いているのだから、毎年、具体的にやったことを評価して年次報告する、進化する計画にしようという方針を決めました」（城マネージャー）。

年次報告書は、掲げた目標と活動に

東海テレビ事業株式会社 ヘルシーピープルみえ・21のコンセプトに沿った 健康イベントをホームページで紹介

「企業のなかでも熱心だったのは、三重交通さんと東海テレビさんで、ヘルシーピープルみえ・21のロゴを使わせてほしい、何か手伝えることはありませんかと、わざわざ訪ねてくれました」（城マネージャー）。



東海テレビ事業株式会社事業部の今井副参事

東海テレビ事業株式会社は、広告代理店業務やイベント運営企画を手がける同テレビ局の子会社で、この春から「ヘルシーピープルみえ・21」のコンセプトに沿った企業や市町村などのイベント情報をホームページ（URL <http://www.tokai-tvj.co.jp>）上で紹介。「当面は、多くの人が楽しめる場やイベントの情報を紹介し、サポートしていきたい」と同事業部の今井宏副参事。このほか、イベント開催時の企画運営をサポートしていくと話します。

このきっかけは、昨秋の三重県大安町の健康フェスティバル運営を手伝った折に「ヘルシーピープルみえ・21」を知り、県庁を訪れて、「ほかの企業の取り組みを紹介するのもおもしろい」と城マネージャーからアドバイスを受けたこと（今井副参事）でした。その後、大安町のウォーキング大会で運営進行、警備などを請け負った今井副参事は、「雨のなか1,000人以上も参加し、200人を超えるボランティアが運営事務局を裏方として支える姿を見ていると、こうしたイベントがもっと数多く開催されていいんじゃないか、地域への愛着が強くなってまちづくりに通じるなという気がしました。イベントで住民がまわっていき過程が、まちのプラスになる。何かヨーロッパのサッカークラブチームのイメージですね」

「ヘルシーピープルみえ・21」や条例に関しては、「企業や住民の役割を掲げていて、懐が深い計画だなと思います。行政主導だと没個性になりがち。健康的で楽しいものは行政だけじゃできない。私たち企業も、住民や自治体のこうした取り組みを温かい目で見守っていく必要がある」と話します。

対し、どう取り組み、成果はどうだったか、毎年報告するというもの。保健所の活動には、事業として位置づけられていない活動が多く、それが通常の事業報告に載ってこないため、そういった足で稼いだ活動もしっかり残そうという狙いもありました。

評価システムとしては、健康指標などの数値目標の達成度を評価する成果重視の「県民の健康度の評価システム」に加え、県民が事業効果を点数評価する浸透度評価、関係団体や企業、NPO、市町村などが協働体制の点数評価

をする協働度評価、住民満足度を点数評価する総合行政評価などの「県行政に対する評価システム」、さらに、統計結果や事業成果のランキングシステムによる「市町村活動に対する評価システム」を明記しました。

「こういうしくみをヘルシーピープルみえ・21に入れたら、その考えがやがて格上げされ、それを補強する条例へと自然に展開していきました」（城マネージャー）

市町村支援の方針をヘルシーピープルみえ・21で明らかにしたので、「こ